

2. 事業の概要

(1) 教育理念

コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会の教育:「まことの自由への教育」

↓
コングレガシオン・ド・ノートルダムの学校は、1658年に始まる教育の歴史をもち、子どもたちが生きる意味を見出し、強い意志・勇気・愛をもって、社会の変革に寄与できる、誠実で品位ある人になるように育て、世に送り出そうとしている。すべての教育活動は、子どもたちが自分に与えられた使命に気づき、自己実現をはかり、未来を拓いて行く力を育てることを目指している。

- ・ イエス・キリストの愛に学ぶ
- ・ 卓越した学問の追究を旨とする
- ・ 神・他者・自分・自然と対話する心を育む
- ・ 義と平和の実現のために働く人を育てる

(2) 教育重点目標

〔福島部門〕

1. 教育力の充実・向上
2. 募集・広報活動の活性化:入学者目標(短大160、高校150、中学校35、小学校30、幼稚園30)

〔調布部門〕

1. ミッションステートメントの具現化
2. 教職員研修の活発な展開

〔北九州部門〕

教育方針:卓越した学力と豊かな人間性を身につけ、「人々のための人」になろうとする
志の高い児童生徒の育成

事業目標:

1. 自立した学習者の育成
2. 次代を担うための先進的な教育の推進
3. 高い教育力を目指した教員研修の充実
4. 経営基盤の強化

(3) 重点課題と実施事業

〔桜の聖母短期大学〕

1. 教育内容の充実

・魅力ある学科・専攻・コースづくり

キャリア教養学科:新カリキュラムとコース制度を導入、「キャリアオーナーシップ」の意識付け

生活科学科:各専攻・コースの外部指標点検、新科目の開講及びアンケートによる学習成果の検討

・多様な学生の学びへの支援(学務部)

令和4年度改訂「短期大学三つの方針」に基づいた全学教育課程の改訂

学務Webシステム変更による学務業務の推進、ICT環境の充実整備

・状況に応じ主体的に判断し、共同して活動に取り組む支援(学生支援部)

主体的に活動し、責任をもって実行する学生委員会活動の支援

多様な学生・特別支援の必要な学生の情報の共有及び支援

・多様な学生の進路実現(キャリア支援センター)

各学科専攻との連携を強化しての進路決定に向けた計画的な支援(就職内定率99%)

新カリキュラム新入生に対する就職支援講座の開設、編入学・公務員試験合格に向けた支援を実施

個別相談等を通しての就職・編入学・公務員試験合格に向けた支援の実施

(公務員8名、編入学合格7校8名)

2. 入学定員の充足

・入学定員充足率目標85%

→実績:充足率63%(入学者数107名,キャリア教養1名減,生活科学科食物栄養13名減,こども保育3名減)

教職員による高校訪問300校との関係強化を目標(実績247校訪問)

オープンキャンパス新規参加者が年間計250名目標(実績214名参加)

・内部進学者増加を強力に図るが、前年度比4名減の6名

3. 地域貢献の推進

・生涯学習センターと本科学務部連携による桜おとなカレッジ「履修証明プログラム」を推進(履修生実績16名)

・ふくしま市産・学・官地域連携プラットフォーム中長期計画による「ふくしま田園中枢都市圏」との関係づくり

・各学科・専攻・コース毎の地域貢献教育活動の実施

〔桜の聖母学院中学校・高等学校〕

1. 生徒の全ての可能性を十分伸ばすことを目指した「One Challenge -Discover yourself-事業」の継続

・校外コンテストへの積極的参加を促し、生徒自らが興味関心を探り、隠れた才能を自覚・開花させる

フォトコンテストやイラスト、書、俳句等への応募が多い中、理系コンテストへの参加もあり

→高校生主な結果:福島県発明展(県知事賞),全日本学生生徒児童発明くふう展(内閣総理大臣賞)

世界青少年発明工夫展(銀賞),税に関する高校生の作文(福島税務署長賞)他

→中学生主な結果:社会を明るくする運動「青少年からのメッセージ」(優秀賞),

小中学生による税に関する書道展(優秀賞)他

2. 生徒自身が自分を変容させる力を持つための準備・支援
 - ・高大連携事業の推進
 - 新型コロナウイルスの影響により、様々な大学の行うオンライン研修への参加推進
(福島大学、福島県立医科大学、会津大学、桜の聖母短期大学)
 - ・中学校の特別希望課外授業の実施
(一斉授業では実施できない内容を教材として、数学・英語で実施)
 - ・教員の授業力向上研修の実施
(ICT活用教育,探究活動,STEAM教育に関する先進校(大妻中高・田園調布学園中高・成徳学園
中高訪問及びICT活用に関する校内研修の実施(通年3回開催))
3. 生徒が責任ある社会人となることを目指した地域社会との連携指導
 - ・「福島市を創る高校生ネットワーク(FCN)」への参加と企画・運営・発表
 - ・中学生向けのキャリア教育として、6年後見据えた進路指導の充実
4. 社会の変容と地球環境の保護に積極的に取り組む指導
 - ・STEAM教育の推進と課題研究の推進、STEAM教育先進校視察
 - ・最先端のプログラミング言語Python3を用いた研修の実施
 - ・SDG'sの観点を取り入れた教員・生徒後援会等の実施

[桜の聖母学院小学校・幼稚園]

1. 「募集」に関する体制の見直しと新規方策の設定
 - ・幼稚園・保育所・こども園等40施設へ全教員で分担訪問を実施
 - ・保育・授業公開,説明会の増と内容検討(幼稚園説明会1回,小学校説明会2回,オープンスクール1回実施)
 - ・年長組保護者及び高学年保護者に対する進路指導の強化(幼小交流会6回実施,幼小だより3回発行)
 - ・小学校同窓会との情報交換と相互協力(1～3年生幼花壇の設置)
2. カトリック精神とその価値観に基づいた「心の教育」の継続と強化
 - ・「宗教」を中心とした校内研修の実施、中高級教科教員による特別授業の実施
 - ・「心の教育」を柱とした月毎の生活目標の策定と徹底(職員会議を通じての月毎の評価と指導・改善)
 - ・「こころの時間」における指導計画と内容の改善(教材と内容項目の見直し,全校朝会教員講話を継続)
3. 本校独自の「英語教育」の展開
 - ・総合的な「英語力」(4技能)習得に向けてのカリキュラム作成と授業力の向上
(各学年の単元・目標・題材・学習内容・評価、基礎単語・基本英文の確認と整理を継続)
 - ・他部門の英語科研修及び他校における授業参観
 - ・教育改革推進特別補助等を活用したネイティブ(ALT等)との協働授業構成と改善
4. 全教員における総合的な「教育力」の向上
 - ・授業(保育)力、生活指導力、学級経営力、説明力に対する分析評価と改善のため、学校評価を活用
 - ・授業研究の質的転換のため、国語・算数・宗教・英語で研究授業を実施
(参観アンケートによる視点を絞った参観、事前・事後検討会の実施)
 - ・校外研修への参加とその内容の共有化(地区私小連、カトリック学校研修会に参加)
 - ・リーダーによる教育最新情報の収集と提示(全国私小連幹部研修会に校長・教頭がオンライン参加)
 - ・スクールカウンセラーによる指導の共有

[マルガリタ幼稚園]

1. 重点目標
 - ・園児:イエス・キリストの愛に学ぶ ―やさしさをみつけよう―
 - ・教員:研修会数拡大(新任教育・指導、マルガリタ幼稚園教育理念基本研修等)
 - ・事務職員:事務処理・会計処理の効率化
2. 幼稚園運営の基本的事項
 - ・幼稚園募集活動の充実強化園児・保護者、地域社会へのサービスの充実
→令和4年度満3歳児クラスを開設、教育の魅力度アップ
→費用対効果に基づく募集広告媒体・手法の見直し
 - ・教職員の保育意識の向上と見える化(中堅教育の育成及び教職員の全体的教育力アップ)
 - ・「プレ保育」「マルガリタひろば」の継続と強化、地域への園庭開放・移動動物園の実施
 - ・危機管理マニュアルの見直しと作成、避難訓練の拡大
→直下型地震に備えての蘇南訓練の定期実施、災害発生時の備蓄点検
→コロナ感染拡大防止措置の徹底及び感染者・濃厚接触者発生時の対応強化
(一斉メール・HPの活用、情報の一元管理、保健所・市・園医等との連絡体制の確立)
3. 教職員の業務負担軽減による園児と向き合う時間の拡大
 - ・園務システムの効率化及び教職員研修体制の確立
 - ・会計処理の効率化(ネットバンキング活用と振込手数料の軽減)
4. 幼稚園教育体制の向上・改善
 - ・施設設備の安全・衛生面の改善(2歳児・満3歳児保育室の改修,2階テラス排水工事,園庭補修工事等)
 - ・預かり保育の時間延長、日数の増加拡大検討

[明治学園中学・高等学校]

現役進学目標:国公立医学部医学科15名、超難関大学20名、私立医学部医学科5名
現役合格実績:国公立医学部医学科9名、超難関大学10名、私立医学部医学科7名

1. 先進的教育の推進:MEP2050の推進(3年目)
 - ・コアカリキュラムとして“Catholic Spirit”の機能化
 - ・生徒自らのAARサイクルの定着を図り、生徒の「自分と向き合う力」を高めさせる
 - ・ICT機器を手段として活用する授業の研究
 - ICT機器については社会科見学・インタビュー・他校交流・プログラミング学習にも活用の幅が広がった
 - ・行事や体験学習などを通じた広い視野を持つ生徒の育成
2. 教員の指導力向上:MEP2050の推進(3年目)
 - ・学習評価を授業改善へ繋げるカリキュラムマネジメントを実践,実践を通して授業における「考え抜く力」育成
 - ・2050年を牽引する生徒を育むキャリア教育を再構築(ライフキャリア教育の充実)
 - ・ICT端末一人一台を十分活用できる環境の整備(モラル教育の必要性)
 - ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策力の徹底(学校行事への保護者参加を促進)
 - ・学園教員養成計画の活用(学園長による校務運営ゼミの実施、全8回)
3. 小中高が連携して魅力ある学園の実現(強化間、学習指導、生徒指導での連携)
4. 生徒募集
 - ・明治小学校への募集活動の強化(明小5・6年制への出前授業)
 - ・外部小学校への募集活動(学校説明会・入試説明会への参加者に比較し、受験者・入学者は減少)
5. 経営基盤の強化
 - ・省資源化及び節約に努めると共に、生徒数に応じた学校経営の認識強化により、予算の大幅削減

[明治学園小学校]

1. 先進的教育の推進
 - ・わかる授業づくり、カリキュラムマネジメントの推進、基礎学力の向上、ICT機器の効果的な活用、において導入時の工夫・展開時の工夫・週末時期の振り返りを全27回の授業研究にて実施
 - ・基礎学力の向上(国語・算数・理科の平均正答率は全国に比較して高評価)
 - ・ICT機器の活用と体験的な学びの組み合わせの効果を期待した授業の展開
2. 豊かな人間性・健やかな体の育成
 - ・カリックの精神に基づいた教育の充実、基本的な生活習慣の形成、社会性の向上、健康安全教育の推進と体力の向上、いじめ防止 を目標に展開
(5・6年生対象に7つの習慣小学生プログラム(リーダー・イン・ミー)を導入、3年～6年は心身ともに健康で安全な生活態度・習慣を形成するために外部講師・学生ボランティア体制を構築、実施)
3. 小中高の緊密な協力体制(強化間、学習指導、生徒指導手瀬の連携)
4. 児童募集・経営基盤の強化
 - ・明治小志願者(男子57,女子55,計112,前年度比▲1名),入学者(男子42,女子41,計83,前年度比▲1名
明治中高教員による連携活動(明小5・6年制へのわくわく授業の実施)
 - ・明治学園中学校への内部進学(男子38,女子49,計87)、外部進学者(男子5,女子2,計7)
5. 経営基盤の強化
 - ・北九州市内の出生児数減少に伴う児童数・クラス数のシミュレーション(2023～2027)

(4) 施設・設備

[桜の聖母短期大学]

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| 1. 会議室スライディングウォール等地震被害改修工事 | 4. 高圧滅菌器・高速プリンター等機器備品 |
| 2. 学内情報配線増設工事 | 5. 校舎内外・設備等各所修繕工事 |
| 3. 情報基盤整備事業 | |

[桜の聖母学院中学校・高等学校]

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1. 屋上消火用補給水槽入替整備 | 4. 生徒用机・椅子入替 |
| 2. 高校2階中央トイレ改修工事 | 5. 電子黒板・プロジェクター等の教育機器備品 |
| 3. 講堂ミキシングコンソール更新 | 6. 校舎内外・設備等各所修繕工事 |

[桜の聖母学院小学校・幼稚園]

- | | |
|-------------------------------|----------------------|
| 1. 小学校ICT情報機器(タブレット・電子黒板・収納庫) | 3. 幼稚園ピアノ入替え整備 |
| 2. 小学校教室前花壇整備 | 4. 校(園)舎内外・設備等各所修繕工事 |

[マルガリタ幼稚園]

- | | |
|------------------------------|--------------------|
| 1. 園庭補修・整備工事 | 3. 園舎2階テラス通路排水整備工事 |
| 2. いちご組(満3歳児クラス)関連保育室改修・備品整備 | 4. 園舎内外・設備等各所修繕工事 |

[明治学園]

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 1. カトリックセンター(旧修道院)敷地・建物取得、整備 | 4. キュービクル電気設備改修工事 |
| 2. 小学校ICT情報機器(タブレット・電子黒板・収納庫) | 5. 中高保健室空調機更新・空気清浄機整備 |
| 3. 自動火災報知機入替整備 | |